

中津城下町遺跡 殿町奥平孫次郎屋敷跡

中津市文化財報告33集

例 言

- 一、本書は中津市教育委員会が2002年度に実施した中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡の発掘調査報告書である。
- 一、調査は病院建設に伴うもので、調査、報告に要した費用は全て医療法人杏林会村上記念病院の協力を得た。

一、調査団の構成は下記の通りである。

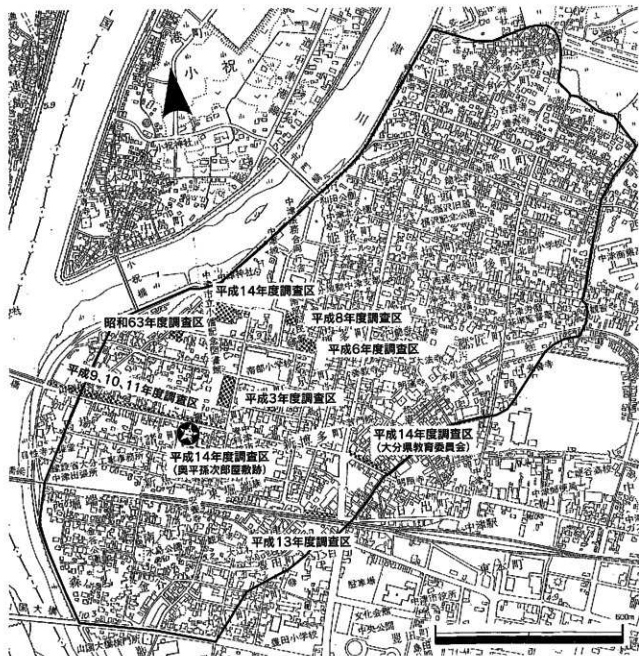
調査主体	中津市教育委員会		
調査責任者	武吉 勝也	(中津市教育委員会教育長)	
	城戸崎 九一	(中津市教育委員会教育長職務代理者)	
調査事務	尾畑 豊彦	(中津市教育委員会市民文化センター館長)	
	田中 布由彦	(同)	文化財係長)
	富田 修司	(同)	主査)
	高崎 章子	(同)	主査)
調査担当	花崎 徹	(同)	主任)

- 一、本書の方位は磁北である。
- 一、遺構観察表の遺構の深さは最も深い位置で測ったものである。
- 一、遺物の実測、製図、遺物観察表は(1~150)九州文化財リサーチが行い、(151~303)を花崎が担当し製図は金丸孝子(中津市歴史民俗資料館)が行った。
- 一、遺物の拓本は岩崎弘子が行った。
- 一、現場の遺構実測は花崎が行ない、黒川みゆき、黒川洋美、掛布玲子、長岡早苗、慣仙花、岡田山美恵、の協力を得た。製図は花崎が行った。
- 一、遺構、遺物の写真撮影は花崎が行い、岩崎、掛布、長岡の協力を得た。
- 一、本書の執筆、編集は花崎が行った。
- 一、発掘作業、及び遺物整理は下記の皆さんの協力による。(敬称略)
若木和美、菅充子、小田久美子、片桐千鶴、辛島雅美、新田秀勝、慣仙花、宮久君子、松本貞子、河野孝之、長岡早苗、掛布玲子、黒川洋美、福永美佐子、今永キク子、黒川みゆき、徳永賀子、植山京子、植山ヨシカ、岡田山美恵、松本勲、岩崎弘子

目次

第1章 中津城下町遺跡のこれまでの調査	1
第2章 中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡	2
1、調査に至る経緯と試掘調査	3
2、本調査の概要	3
3、遺構	4
4、遺物	9
5、遺物観察表	31
第3章 小 結	39
図版1～5	40～44
抄録	44

第1章 中津城下町遺跡のこれまでの調査



第1図 中津城下町遺跡周辺図

1632年播州龍野から小笠原長次が八万石の城主として入部した。「畿前誌」によれば小笠原時代に中津の城下の整備が完成されたとされる。1588年、黒田孝高により中津城が築城されてから60数年を経て中津の城下町の原型はほぼ完成された。現在、城下14町は中津城下町遺跡として周知される。これまでに中津城下町遺跡では9地点の試掘調査、本調査が実施されている。ここで主な調査を概観する。昭和63年度、マンション建設に際し、内堀に作る土塁が調査された。土塁、通称「おかこい山」では、土塁を堅固にするための大量の河原石、これを覆うように土盛りをした土塁の状況が観察された。また土塁へのぼるための坂道状の遺構が検出された。平成3年度、中津市立図書館が建設される際、発掘調査が実施された。寛政の改革後、全国で藩校が急増した。調査区内には



第2図 慶応2年絵図、奥平孫次郎屋敷地位

中津藩の藩校進脩館跡が期待されたが、近代の開発により礎石と溝状の遺構を検出したのみであった。平成6年度には中津市の南部地区に公民館建設に伴う発掘調査が実施された。調査区では大手門につながる石垣や土塼、建物跡、石列などが検出された。石垣は保存され現在、遺構表示がなされている。平成9年度～11年度、県道拡幅に伴う発掘調査が実施された。調査区は絵図によると旧武家屋敷跡が建ち並ぶ地点であった。調査区内では土塼、井戸、屋敷の境界線を示す遺構などが検出され、大量の遺物が出土した

第2章 中津城下町遺跡奥平孫次郎屋敷跡

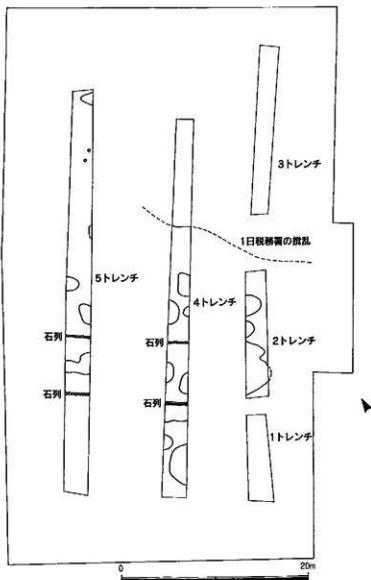
1. 調査に至る経緯と試掘調査

平成14年度8月、医療法人杏林会村上記念病院より中津市1422番地で開発申請があげられた。中津市教育委員会は当地が中津城下町遺跡として周知されることから試掘調査の実施を指導し、平成14年9月に実施した。調査区に5本のトレンチを設定し重機により掘削を行った。1トレンチは表土より10cmほどで灰色のブロック状の塊を検出した。2トレンチは表土より1mほど掘削し黄褐色の地山に達した。この層より3基の土塼と推測される遺構を検出した。3トレンチは表土より2mほど掘り下げたが攪乱が著しく地山に達しなかった。4トレンチは2トレンチと同様1mほどで地山

に達し南側で土壌、石列を検出した。北側は3トレンチと同じ状況であった。5トレンチは4トレンチと同じ状況で、南側で遺構を検出した。試掘の結果、調査区北側は旧税務署の建設、解体工事によって遺跡は壊滅し、南側では江戸時代の遺構の存在が確認された。開発側との協議の結果、工事の変更はできず発掘調査が実施されることとなった。

2. 本調査の概要

本調査は平成14年12月2日より実施された。重機により調査区の掘削を行った。遺構検出面まで掘削された上に多くの近世陶磁器が検出された。検出された遺構は土壌80基、溝状遺構2基、埋壘3基、井戸1基である。土壌からは陶磁器、土師質土器、貝殻などが大量に検出された。溝状遺構の幅は狭く、深さも浅い。性格は不明である。埋壘の1基は近代の便所と推測され今回図示していない。井戸は調査区の中央部で検出された。遺構検出面から約130cm掘り下げ石組みの井戸を検出した。石は長さ40cmほどの河原石が丁寧に積み上げられていた。石組みを3段確認したが、湧水が著しく、崩落の危険から掘りさげを中止した。



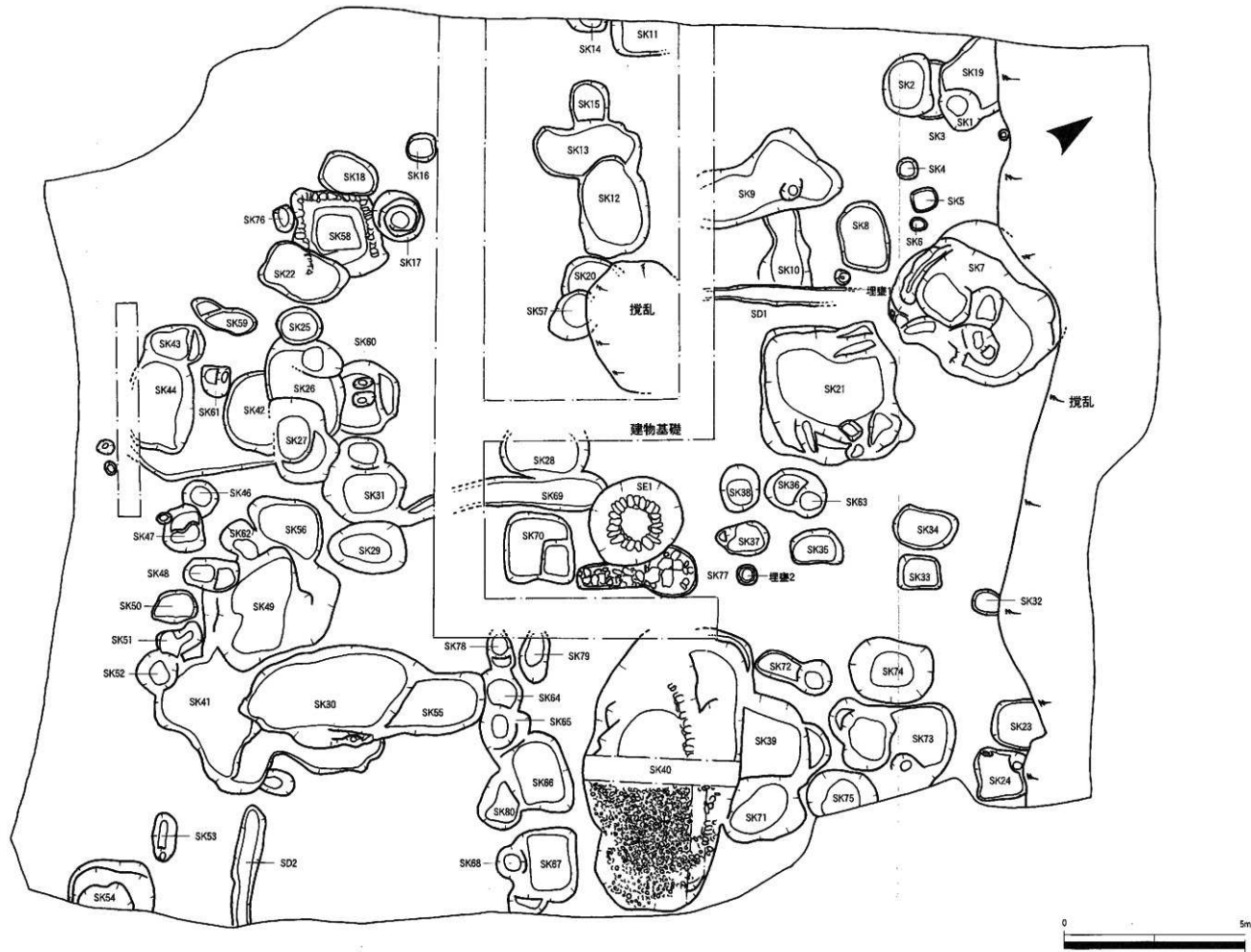
第3図 中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡試掘図

<参考文献>

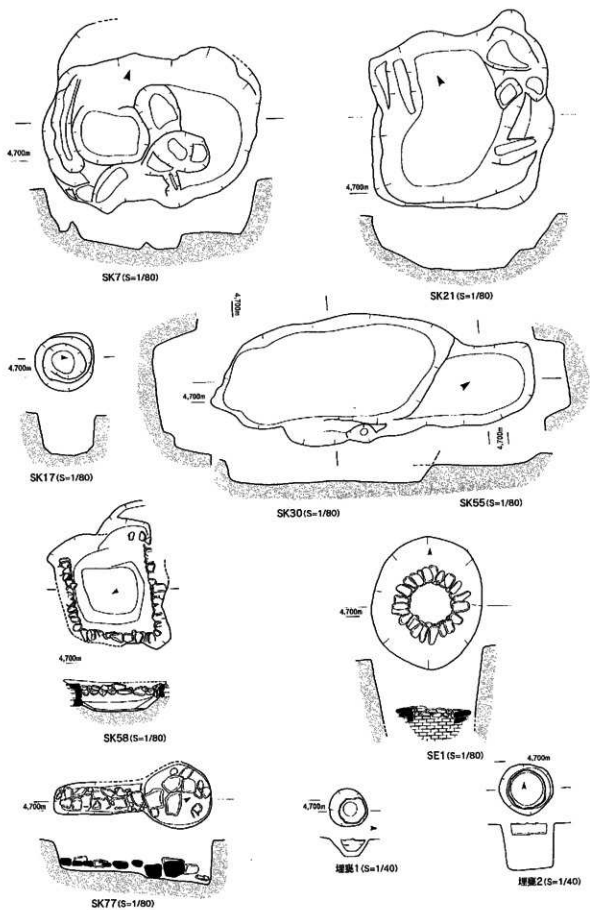
- 『おかいこ山』中津城内堀上層遺構の調査 中津市教育委員会 1990
- 『藩校進館館跡 相原鹿寺IV 中原遺跡』中津地区遺跡群発掘調査概報 (IV)
中津市教育委員会 1992
- 『中津城下町遺跡 京町 御用屋敷跡』中津市教育委員会 1998
- 『大分県文化財年報7』平成9年度版 (中津城下町遺跡) 大分県教育委員会 1999

3. 遺構

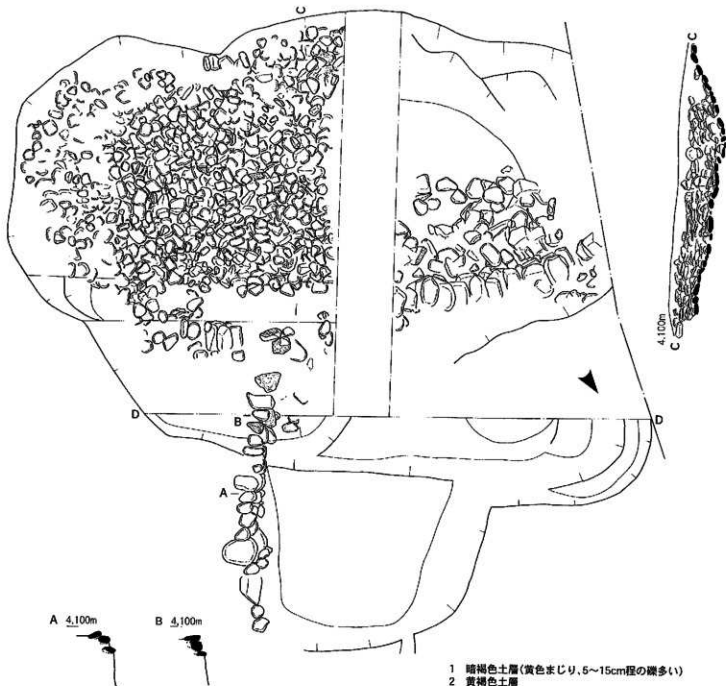
遺構SK	形状	規模(cm)		備考	遺構SK	形状	規模(cm)		備考
		最大幅	深さ				最大幅	深さ	
1	円形	120	65	SK19と切りあい不明	41	不明	390以上	61	SK30に切られる
2	楕円形	172	67	SK3を切る	42	円形?	240	55	SK27と切りあい不明
3	不明	150	15	SK1,2,19に切られる	43	楕円形?	166	40	SK44と切りあい不明
4	円形	61	30		44	隅丸方形?	240以上	15	SK43と切りあい不明
5	隅丸方形	74	22		45	不明	360以上	9	全景不明
6	円形	47	23		46	円形?	102	17	SK47に切られる
7	隅丸方形	448	140	炭化物、焼土を多く含む 火災跡の廃棄土壌?	47	隅丸方形	134	17	ピットに切られる
8	隅丸方形	186	23		48	隅丸方形	156	22	SK49を切る
9	不明	320以上	40	建物基礎に一部切られる	49	不明	360以上	60	SK56と切りあい不明
10	不明	220以上	5	SD1に切られる	50	楕円形	126	11	
11	不明	108以上	35	土層厚土層小皿が驟然とし 土状層で出土	51	不明	128	18	SK52と切りあい不明
12	楕円形	278以上	79	SK13と切りあい不明	52	円形	120以上	63	SK51と切りあい不明
13	楕円形	300	67	SK12と切りあい不明	53	楕円形	130	32	
14	不明	112以上	12	調査区外で全景不明	54	楕円形?	224以上	69	全景不明
15	円形?	108以上	25	SK13に切られる	55	隅丸方形?	300以上	57	SK30と切りあい不明
16	円形	84	10		56	楕円形?	212	20	SK49と切りあい不明
17	円形	152	84	大型の甕、鉢か一括廃棄	57	楕円形?	140	55	SK37を切る
18	楕円形	172	32	SK58を切る	58	隅丸方形	240以上	63	土壌内面に方形の石組みが 施される
19	不明	78以上	38	SK3を切る SK1と切りあい不明	59	楕円形	190	48	
20	不明	120以上	104	SK57に切られる 攪乱により全景不明	60	円形?	202以上	64	SK26に切られる
21	隅丸方形	400	110	炭化物、焼土を多く含む 火災跡の廃棄土壌?	61	隅丸方形	86	35	
22	隅丸方形	240	30	SK58を切る	62	隅丸方形?	120以上	11	SK49,56切りあい不明
23	不明	140以上	44	攪乱に切られる	63	円形	104	137	SK36と切りあい不明
24	不明	140以上	27	攪乱に切られる	64	円形?	108以上	51	SK65,78と切りあい不明
25	円形	136	15	SK26を切る	65	円形?	140	66	SK64,66と切りあい不明
26	不明	260以上	20	SK25,27に切られる	66	隅丸方形	220	52	SK65,80と切りあい不明
27	隅丸方形?	138	50	SK26を切る	67	隅丸方形?	200	61	SK68と切りあい不明
28	不明	240	31	SK69と切りあい不明	68	円形	88	40	SK67と切りあい不明
29	楕円形	212	58	SK31を切る	69	溝状遺構?	560以上	38	
30	楕円形	456以上	100	SK41を切る	70	隅丸方形	196	77	井戸に関連する遺構か
31	円形	224以上	75	SK29に切られる	71	隅丸方形?	220以上	79	SK39と切りあい不明
32	楕円形?	68以上	45	攪乱に切られる	72	不整形	212	28	
33	隅丸方形	120	136	20cmほどの壁多い	73	不明	300	79	2つの土壌に分かれる?
34	楕円形	180	36		74	楕円形	232	63	
35	隅丸方形	148	32		75	楕円形?	200以上	40	全景不明
36	円形?	156以上	42	SK63と切りあい不明	76	楕円形	76	20	
37	楕円形	148	50		77	不整形	340	96	40~50cmの礫が溝構の 床面に並ぶ
38	円形	138	72		78	楕円形?	70以上	94	全景不明
39	不明	232以上	50	SK40,71切りあい不明	79	楕円形?	92以上	23	全景不明
40	楕円形	770以上	145以上	池状の遺構か	80	楕円形?	140以上	56	SK66と切りあい不明



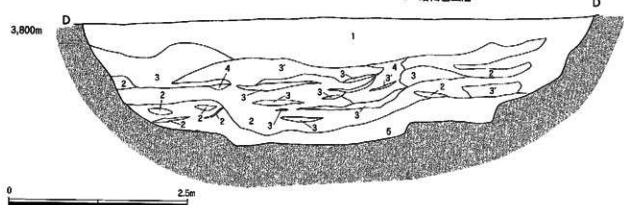
第4図 中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡全体図(S=1/100)



第5図 中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡遺構図



- 1 暗褐色土層(黄色まじり, 5~15cm程の礫多い)
- 2 黄褐色土層
- 3 暗褐色土層(黄色まじり)
- 3' 暗褐色土層(黄色土を多く含む)
- 4 黄色土層
- 5 暗褐色土層

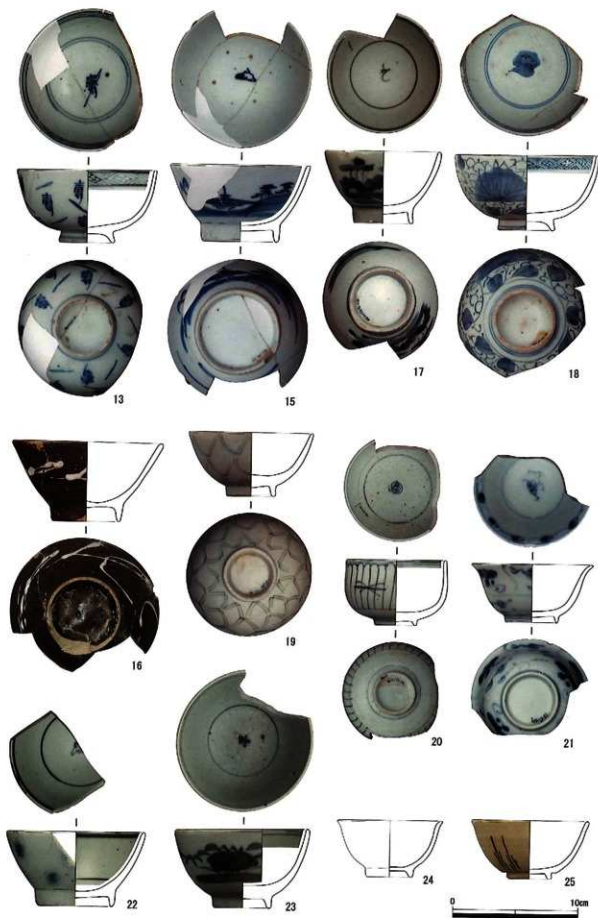


第6図 SK40平面図土層図(S=1/50)

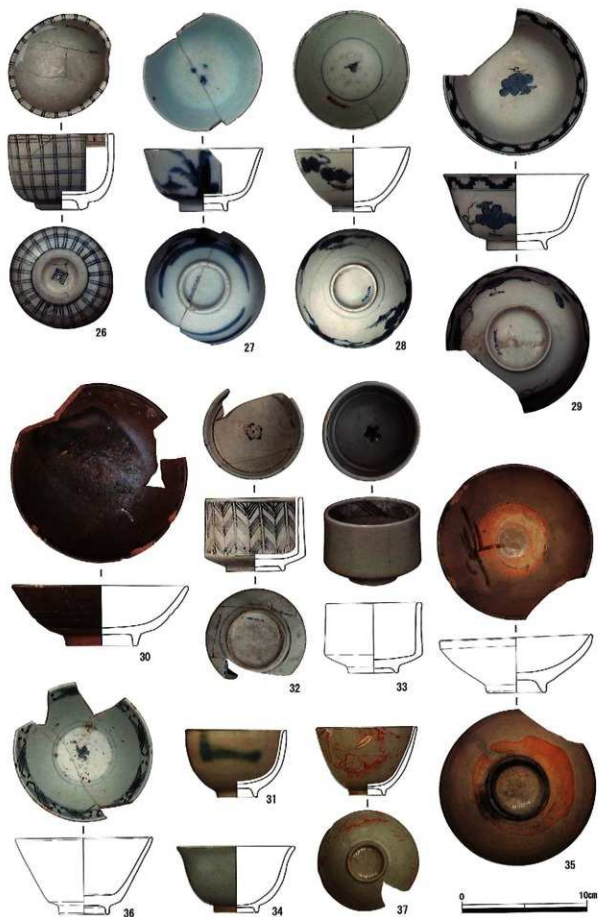
4. 遺構



第7図 中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡出土遺物



第8図 中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡出土遺物



第9図 中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡出土遺物



第10圖 中津城下町遺跡殿町與平孫次郎屋敷跡出土遺物



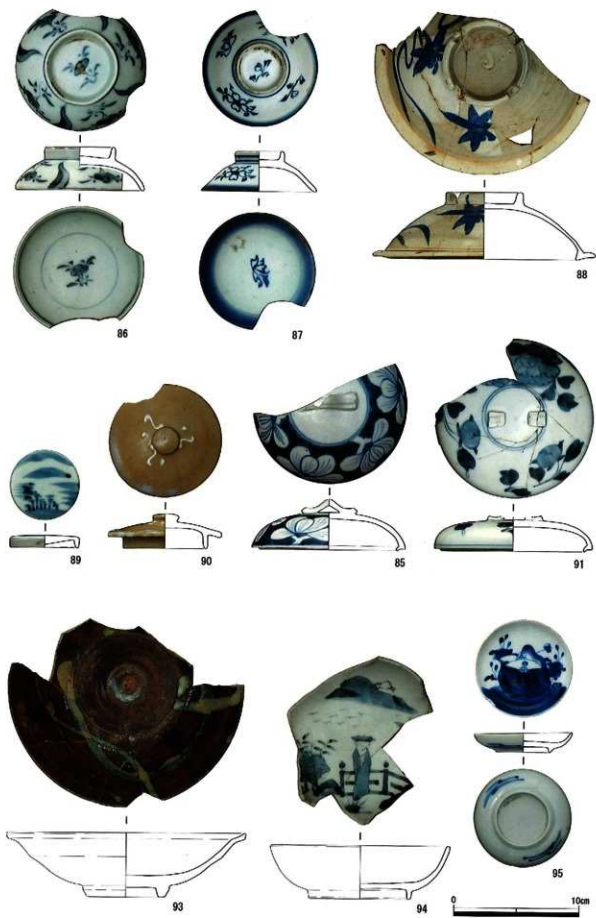
第11图 中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡出土遺物



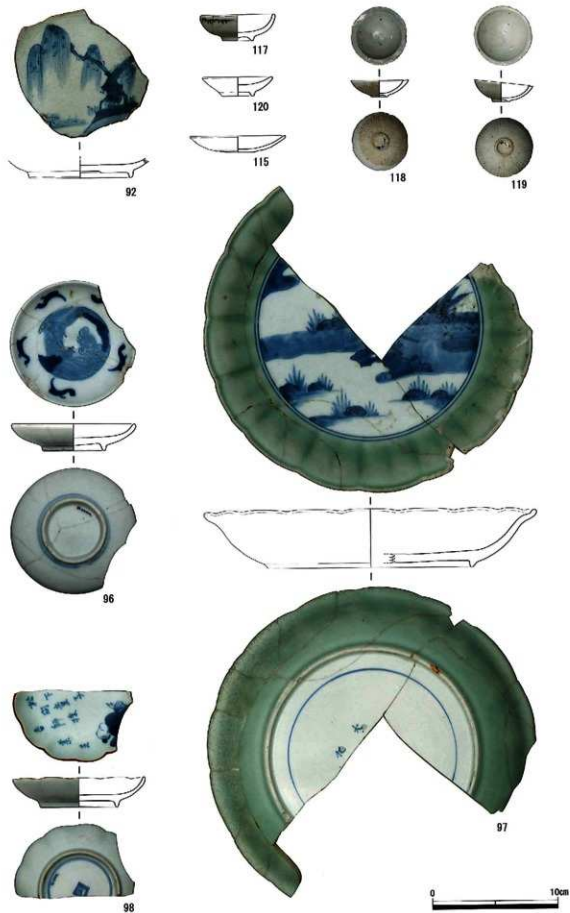
第12図 中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡出土遺物



第13図 中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡出土遺物



第14图 中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡出土遺物



第15圖 中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡出土遺物



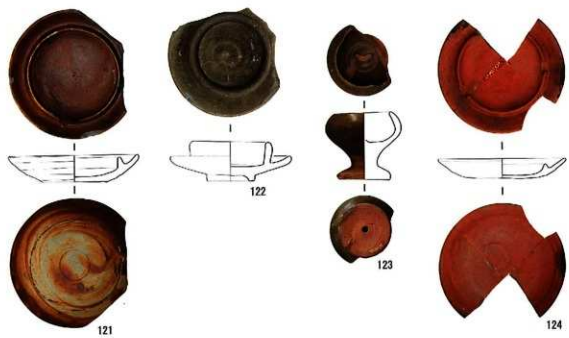
第16図 中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡出土遺物



第17図 中津城下町遺跡殿町與平孫次郎屋敷跡出土遺物



第18図 中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡出土遺物

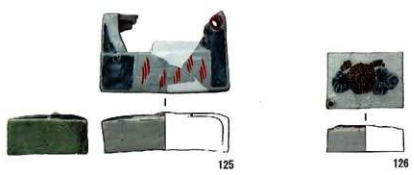


121

122

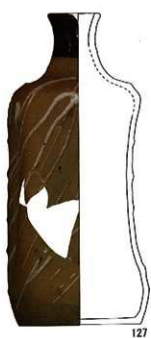
123

124



125

126



127



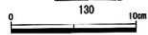
128



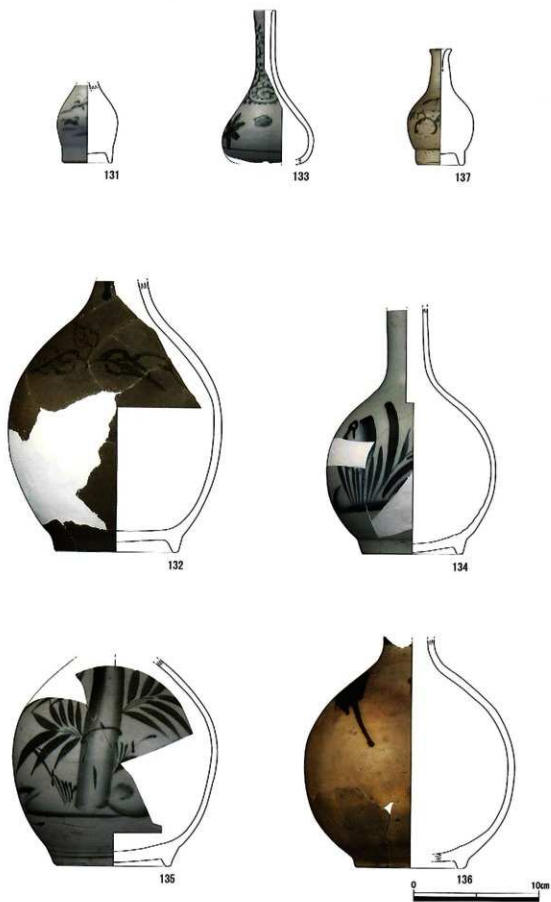
129



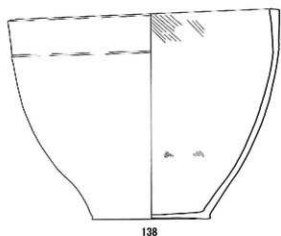
130



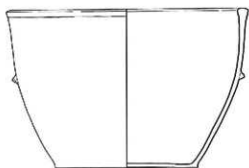
第19图 中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡出土遺物



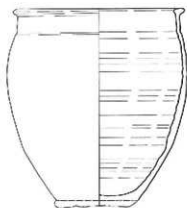
第20図 中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡出土遺物



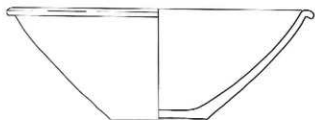
138



140



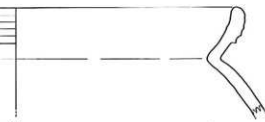
139



52

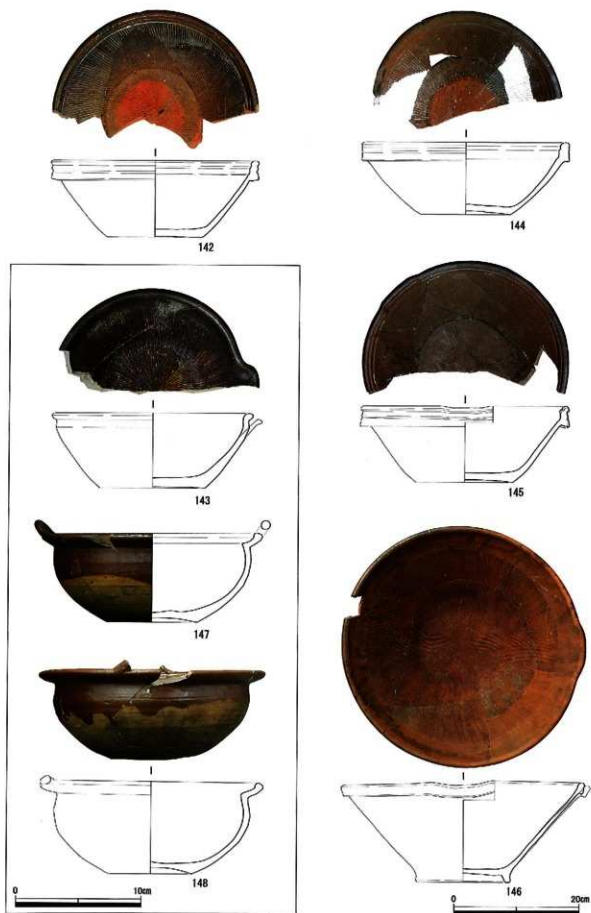


141



0 20cm

第21圖 中津城下町遺跡殿町與平孫次郎屋敷跡出土遺物

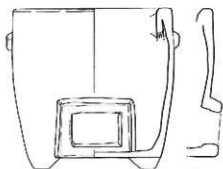


第22図 中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡出土遺物



部分写真

I



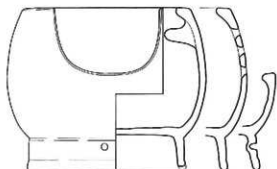
149



部分写真 (実寸大)



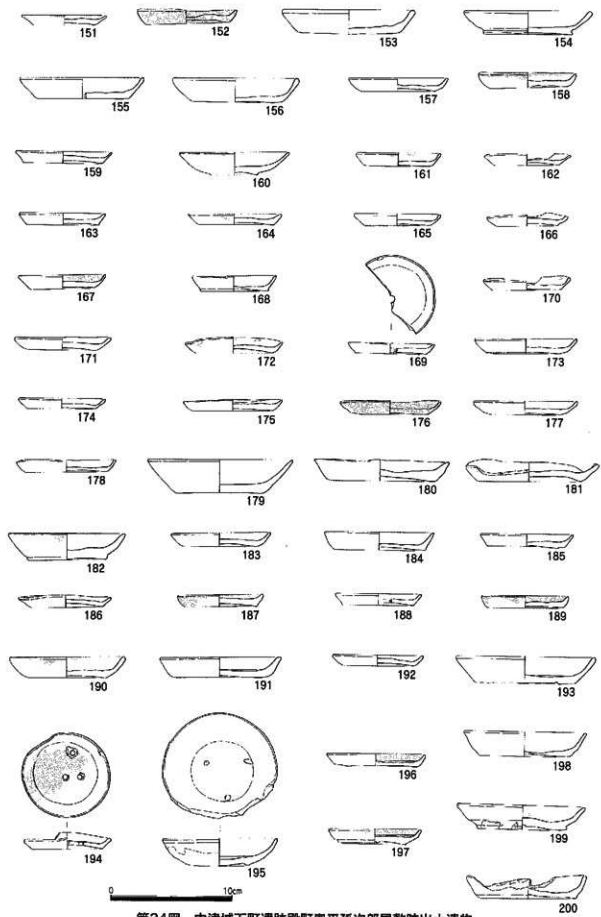
I



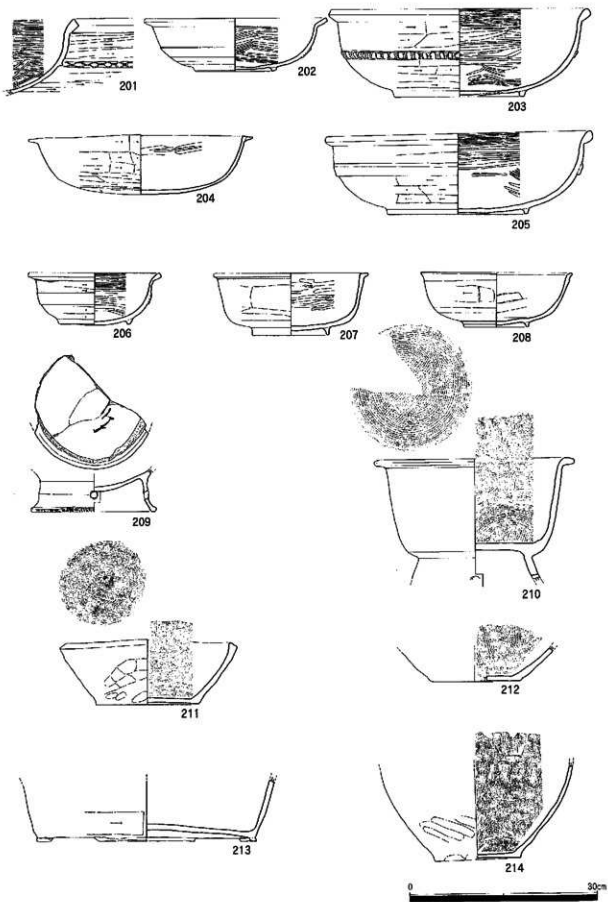
150



第23図 中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡出土遺物



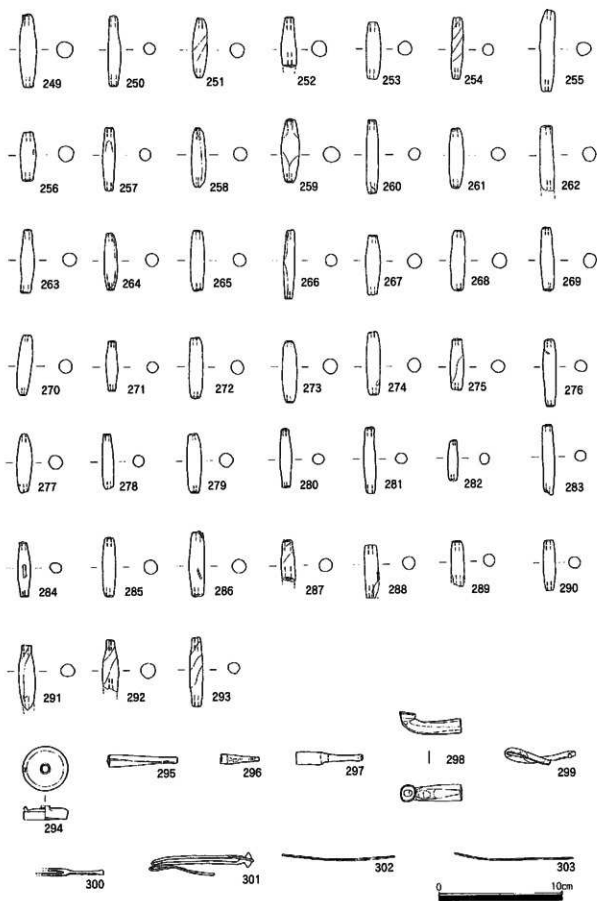
第24図 中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡出土遺物



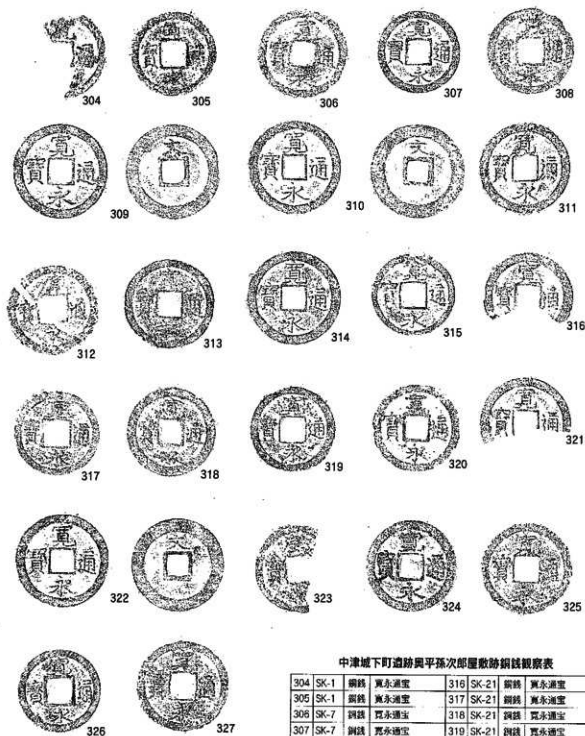
第25圖 中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡出土土物



第26圖 中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡出土遺物



第27圖 中津城下町遺跡與平孫次郎屋敷跡出土遺物



中津城下町遺跡與平孫次郎屋敷跡銅錢觀察表

304	SK-1	銅錢	寬永通寶	316	SK-21	銅錢	寬永通寶
305	SK-1	銅錢	寬永通寶	317	SK-21	銅錢	寬永通寶
306	SK-7	銅錢	寬永通寶	318	SK-21	銅錢	寬永通寶
307	SK-7	銅錢	寬永通寶	319	SK-21	銅錢	寬永通寶
308	SK-7	銅錢	寬永通寶	320	SK-30	銅錢	寬永通寶
309	SK-7	銅錢	寬永通寶 去「文」	321	SK-40	銅錢	寬永通寶
310	SK-7	銅錢	寬永通寶 廣「文」	322	SK-67	銅錢	寬永通寶 廣「文」
311	SK-7	銅錢	寬永通寶	323	SK-71	銅錢	寬永通寶
312	SK-7	銅錢	寬永通寶	324	SK-71	銅錢	寬永通寶
313	SK-21	銅錢	寬永通寶	325	SK-71	銅錢	寬永通寶
314	SK-21	銅錢	寬永通寶	326	SK-71	銅錢	寬永通寶
315	SK-21	銅錢	寬永通寶	327	SK-71	銅錢	寬永通寶



第28圖 中津城下町遺跡與平孫次郎屋敷跡出土遺物

5. 遺物観察表

中津城下町遺跡殿町興平孫次郎屋敷跡遺物観察表

NO	出土遺構	種類	器種	法量(cm)			文様	製作地	製作年代	備考
				口径	器高	底径				
1	SK-1	磁器	碗	9.6	5.65	4.0	外:花卉他 内:雷 見込:松竹梅円形	肥前	1820~ 1860年代	
2	SK-2	磁器	碗	6.7	5.6	3.5	外:松竹梅	肥前	19c前半	
3	SK-2	磁器	碗	(11.1)	5.1	4.5	外:格子			
4	SK-2	磁器	碗	(6.8)	5.6	3.5	外:格子	肥前	1820~ 1860年代	
5	SK-7下層	磁器	碗	10.5	7.7	4.9				
6	SK-12	磁器	碗	9.6	5.5	3.6	外:梅 見込:抽象	肥前	1820~ 1860年代	見込:ハリ支え
7	SK-12	磁器	碗	(6.1)	5.1	2.6	外:菊・竹笹	肥前	1820~ 1860年代	
8	SK-21	陶器	碗	(9.0)	6.9	4.2				
9	SK-22	磁器	碗	10.3	5.65	4.2	外:梅 内:梅	肥前	1820~ 1860年代	瑞反碗
10	SK-22	磁器	碗	9.5	5.1	3.6	外:山水家屋	肥前	1820~ 1860年代	
11	SK-22	陶器	碗	(8.0)	5.3	3.7				
12	SK-27 P-3	磁器	碗	6.6	5.6	3.1	外見込:壽 内:四方罫			
13	SK-27	磁器	碗	10.9	5.8	4.2		肥前	18c後半	
14	SK-27 P-12	磁器	碗	(8.5)	5.8	3.8				
15	SK-28	磁器	碗	10.95	6.1	5.9		肥前	1780~ 1820年代	広東碗 見込:ハリ支え
16	SK-28	磁器	碗	11.7	6.4	5.3	外:イッチン掛け			広東碗 見込:ハリ支え
17	SK-30 P-35	磁器	碗	9.0	5.7	4.6	外:風景 見込:寿崩し	肥前	18c後半	広東碗
18	SK-30	磁器	碗	(11.2)	5.95	4.3	外:菊花 内:四方罫	肥前	18c後半	
19	SK-30	磁器	碗	9.7	5.1	3.7	外:二重網目	肥前	18c後半	
20	SK-30	磁器	碗	(7.8)	5.2	3.2	外:縦縞	肥前	1820~ 1860年代	
21	SK-30	磁器	碗	(9.5)	4.65	4.0	外:掬花 見込:花		1820~ 1860年代	瑞反碗
22	SK-30	磁器	碗	(10.7)	5.9	(5.8)		肥前	18c	広東碗
23	SK-30	磁器	碗	10.4	6.3	4.4		肥前	18c後半	
24	SK-30	磁器	碗	8.1	4.5	3.6				白磁
25	SK-30	陶器	碗	(9.1)	4.6	3.3	外:小杉	関西	18c後半	
26	SK-30	磁器	碗	7.3~ 8.6	6.0	3.2	外:格子	肥前	1820~ 1860年代	底面:落款
27	SK-30 P-11	磁器	碗	9.4	5.0	3.6	外:風景	肥前		
28	SK-30 P-27	磁器	碗	9.0	5.1	3.2	外:菊花 見込:壽	肥前	18c後半	
29	SK-30 P-29	磁器	碗	11.4	6.1	4.8			1820~ 1860年代	瑞反碗
30	SK-31 P-18	陶器	碗	13.8	4.95	5.6				
31	SK-48	磁器	碗	7.8	5.4	3.2				
32	SK-66	磁器	碗	7.5	7.85 5.85	4.5	外:矢筈 見込:五弁花	肥前	18c後半	
33	SK-66	磁器	碗	7.3	5.6	3.8	外:四方罫 見込:五弁花	肥前	18c後半	青磁
34	SK-66	磁器	碗	9.1	5.3	3.4				
35	SK-66	陶器	碗	12.0	4.55	4.6				蛇/目輪割き

中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡遺物観察表

NO	出土遺構	種類	器種	法量(cm)			文様	製作地	製作年代	備考
				口径	器高	底径				
36	SK-67	磁器	碗	10.7	6.1	3.8	内:四方禪 見込:五弁花	肥前	18c後半	
37	SK-67	磁器	碗	7.9	5.4	2.8	外:亀			
38	SK-71	磁器	碗	9.75	5.3	3.7	外:梅樹・雪輪 外底:大明旗札	肥前	18c後半	
39	SK-21	磁器	小坏	7.5	3.8	(2.8)	外:笹	肥前	18c後半	
40	SK-21 P-5	磁器	小坏	7.4	4.3以上		外:菊花	肥前	18c後半	
41	SK-22 P-13	磁器	小坏	7.15	3.65	2.7	外:笹	肥前	18c後半	
42	SK-22	磁器	小坏	5.95	2.8	2.9	見込:牡丹	関西	19c前半~ 中頃	
43	SK-25	磁器	小坏	6.7	2.7	2.4		肥前	1690~ 1740年代	
44	SK-27	磁器	小坏	5.0	3.55	2.7				
45	SK-39	磁器	小坏	7.7	4.1	3.0	外:竹笹	肥前	18c後半	
46	SK-55	磁器	小坏	7.2	5.1	3.4				
47	SK-27 P-10	磁器	火容	10.7	8.7	5.5		肥前	18c	青磁 蛇/目凹形高台
48	SK-30	磁器	段重?	5.7	2.9	5.1	外:山	肥前	18c前半~ 19c後半	
49	SK-40	磁器	合子	3.1	1.8	2.7		肥前	19c前半?	
50	SK-30	磁器	猪口	6.2	7.0以上					
51	SK-31	磁器	猪口	(7.5)	5.7	(6.0)	内:四方禪	肥前	18c後半	蛇/目凹形高台
52	SK-17	陶器	鉢	46.7	17.8	15.6				
53	SK-21	陶器	鉢	16.3	7.8以上					
54	SK-30 P-85	磁器	鉢	17.3	7.8	9.8				青磁 蛇/目凹形高台
55	SK-30	磁器	鉢	(16.7)	9.2	8.8	外:牡丹・壘 内:牡丹他 見込:花			八角形鉢
56	SK-30	磁器	鉢	15.2	7.4	5.6	外:牡丹他 内:四方禪 見込:松竹梅円形	肥前	18c後半	
57	SK-30	陶器	鉢	16.9~ 19.4	8.2	7.9				見込:ハリ支え
58	SK-30 P-68	陶器	大鉢	(30.4)	14.15	16.0	外:流水紋 (羊肉彫り)	瀬戸系		
59	SK-22 P-8	陶器	土瓶	7.5	10.4以上				18c後半	
60	SK-30	陶器	土瓶	5.6	9.0	7.6			18c後半	三足
61	SK-30	陶器	土瓶	8.7	10.2	(7.3)			18c後半	
62	SK-1 P-4	陶器	急須	5.6	4.2	(4.0)				
63	SK-19 P-11.13	磁器	急須	6.6	4.0-5.1	7.0	外:花			
64	SK-30	磁器	急須	6.0	4.8-5.8 以上		外:型打			白磁
65	SK-21	陶器	壺	5.4	8.5	4.6				底部:糸切
66	SK-28	陶器	壺	7.6	12.1	5.0				底部:糸切
67	SK-21	磁器	仏飯器	6.4	5.8	3.6		肥前	18c後半~ 19c中頃	
68	SK-30	磁器	仏飯器	6.5	5.7	3.6	外:蛸唐草	肥前	18c	
69	SK-1 P-5	磁器	蓋	8.5	2.9	3.25				
70	SK-1 P-5	磁器	蓋	7.7	2.1			肥前	1690~ 1740年代	成化年製
71	SK-9	陶器	蓋	3.7	2.25	1.3				
72	SK-12 P-12	磁器	蓋	8.8	2.6		外:亀・松 見込:亀	肥前		

中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡遺物観察表

NO	出土遺構	種類	器種	法量(cm)			文様	製作地	製作年代	備考
				口径	器高	底径				
73	SK-12	磁器	蓋	9.0	2.95		内:雪 見込:松竹梅円形	肥前	1820~ 1860年代	内底:落款
74	SK-20	陶器	蓋	8.8	1.85					
75	SK-21	磁器	蓋	4.9	1.2		外:朝顔?			
76	SK-21	陶器	蓋	6.3	4.65					
77	SK-22	磁器	蓋	7.5	1.2					
78	SK-27 P-9	磁器	蓋	5.3	2.3					
79	SK-27	磁器	蓋	5.1	1.1		外:山水家屋	肥前		
80	SK-30	陶器	蓋	2.4	2.4			関西?	幕末~ 明治前半?	
81	SK-30 P-52	磁器	蓋	3.7	3.0					
82	SK-30	磁器	蓋	4.0	2.4					
83	SK-30	磁器	蓋	6.0	3.4					
84	SK-30	磁器	蓋	10.0	3.1					
85	SK-30	磁器	蓋 (10.8)	4.0				肥前	18c後半~ 19c中頃	
86	SK-45	磁器	蓋	10.0	3.4		外:外底 見込:花	肥前	1820~ 1860年代	
87	SK-48	磁器	蓋	9.0	3.2		外:外底 見込:花	肥前	1820~ 1860年代	
88	SK-54	陶器	蓋 (14.8)	5.3						内底:ハリ支え
89	SK-57	磁器	合子蓋	5.3	1.0		外:風景	肥前		
90	SK-57	陶器	蓋	6.5	2.75		外:イッチン掛け	関西	18c後半	
91	SK-67	磁器	蓋	11.4	2.8以上		外:牡丹	肥前	18c後半~ 19c中頃	
92	SK-2 P-16	磁器	皿	1.5以上	8.0					
93	SK-7	磁器	皿 (18.8)	5.1	6.2					見込:蛇/目輪割ぎ
94	SK-12 P-6	磁器	皿 (14.0)	4.25	7.8		内:老人・山水・花 等			
95	SK-12 P-9	磁器	皿	7.7	1.6	4.2	内:人物・花	肥前	1690~ 1740年代?	
96	SK-20	磁器	皿	9.8	2.2	4.9	内:人物・亀・海亀	肥前		
97	SK-23	磁器	大皿 (26.2)	4.6	(16.4)			肥前	1690~ 1710年代	大明成化年製
98	SK-28	磁器	皿 (10.4)	2.4	(6.1)					口錆
99	SK-30	磁器	皿 (21.2)	2.7	16.0					
100	SK-30	磁器	皿	21.9	3.35	11.4	内:楼閣山水	肥前	1690~ 1710年代	
101	SK-30	陶器	皿 (10.2)	2.3	(6.0)					
102	SK-30	磁器	皿	10.1	2.6	5.2				
103	SK-30	磁器	皿 (8.3)	2.1	5.5					
104	SK-30	磁器	皿	13.7	3.2	9.8	外:連続唐草	肥前	18c後半	蛇/目凹形高台
105	SK-29	陶器	皿	10.8	2.4	5.8				
106	SK-31 P-22	磁器	皿	11.6	3.9	4.4	内:斜交線	肥前	18c後半	見込:蛇/目輪割ぎ
107	SK-40	磁器	皿 (14.3)	2.5	7.4		外:雷文	肥前	1690~1740年代	型紙摺り
108	SK-40	磁器	皿 (14.8)	4.1	(10.8)		外:源氏香・丸	肥前	18c後半	蛇/目凹形高台
109	SK-45	磁器	皿		2.5以上	10.0				
110	SK-51	磁器	皿	11.8	3.2	5.4				
111	SK-54	磁器	皿 (20.3)	3.9	11.4					
112	SK-66	磁器	皿	11.5	2.75	4.6				
113	SK-67	磁器	皿	14.3	2.8	12.7	内:納蘇草 見込:牡丹 外底:(雷文唐草)	肥前	1690~ 1710年代	底部:ハリ支え
114	SK-67	磁器	皿	13.4	3.45	8.4	外:連続唐草 外底:渦福	肥前	18c後半	蛇/目凹形高台

中津城遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡遺物観察表

NO	出土遺構	種類	器種	法 量 (cm)			文 様	製作地	製作年代	備 考
				口 径	器 高	底 径				
115	SK-67	陶器	小皿	7.6	1.3					
116	SK-74	磁器	皿	10.0	2.65	5.0			見込:蛇/目検測さ	
117	SK-7	磁器	紅皿	5.8	2.1	2.5	外:笹	肥前	18c後半	
118	SK-9	磁器	紅皿	4.6	1.3	1.2		肥前	18c末~ 19c前半	
119	SK-38	磁器	紅皿	4.7	1.2~ 1.75	1.4		肥前	18c後半~ 19c中頃	白磁 型打
120	SK-70	磁器	紅皿	5.5	1.5	2.6		肥前	18c後半~ 19c中頃	白磁
121	SK-22	陶器	灯火具	10.1	2.2	5.1		関西	幕末~ 明治後半	受皿
122	SK-30 P-8	陶器	灯火具	6.0	3.2	3.75				
123	SK-30	陶器	灯火具	(4.4)	5.4	4.0				受皿 底部:糸切
124	SK-40	陶器	灯火具	10.1	1.6			関西	幕末~ 明治前半	受皿
125	SK-7	磁器	水滴		3.2					
126	SK-27	磁器	水滴		2.1		外:菊			
127	SK-40	陶器	酒瓶	(3.8)	24.7	9.6	外:イッチン掛け			
128	SK-27	磁器	徳利		17.3以上	5.5				
129	SK-1 P-8	磁器	瓶類	1.7	12.75	3.8		肥前	18c後半~ 19c中頃	
130	SK-7	磁器	瓶類		8.2以上	(5.2)	外:若松	肥前	18c後半	
131	SK-19 P-7	磁器	瓶類		6.25以上	3.75				
132	SK-21	磁器	瓶類		21.5以上	9.6				
133	SK-22	磁器	瓶類	1.6	12.1以上		外:納唐草			
134	SK-30	磁器	瓶類		19.5以上	8.0	外:岩竹	肥前	18c後半~ 19c中頃	
135	SK-30	磁器	瓶類		16.4以上	8.9	外:竹			
136	SK-30	陶器	瓶類		18.1以上	8.5				
137	SK-70	磁器	瓶類	1.6	9.2	3.6	外:笹	肥前	18c後半~ 19c中頃	
138	SK-17 P-10.11.14	土師質 土器	壺	40.8	33.3	18.5		豊前?	18c後半	
139	SK-27 P-11.13	陶器	壺	26.3	30.5 (31.7)	13.0		肥前or 九州	18c後半~	底部:付着物
140	SK-31	土師質 土器	壺	37.1	25.2	22.8				
141	SK-62	陶器	大壺	(70.0)	17.2以上					
142	SK-30 P-71.72.76	陶器	擂鉢	(32.6)	12.1	(15.2)		堺	18c後半~ 19c	
143	SK-30	陶器	擂鉢	(15.4-16.0)	5.95	(8.4)				
144	SK-36	陶器	擂鉢	(31.8)	16.4	(14.2)		堺	18c後半~ 19c?	
145	SK-39	陶器	擂鉢	(32.6)	12.1	(15.4)		丹波?	17c初期~ 17c後半	
146	SK-54	陶器	擂鉢	38.0	16.1	14.4		肥前	18c後半~ 19c中頃	
147	SK-22	陶器	土鍋	16.4	7.1-8.1	7.2		関西	18c後半	
148	SK-30	陶器	土鍋	16.8	7.4以上	6.6				
149	SK-31 P-8	土師質 土器	燈炉	20.9	21.15	15.8		在地	19c前半~ 中頃	
150	SK-66	土師質 土器	燈炉	22.8	25.7	25.0		在地	19c前半~ 中頃	

中津城下町遺跡殿町奥平塚次郎屋敷跡遺物観察表

NO	出土遺構	種類	器種	法量(cm)			色調	調整	備考
				口径	器高	底径			
151	SK-1	土師質土器	小皿	7.0	0.8	5.2	褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 内外面:口縁部スス付蓋
152	SK-7	土師質土器	小皿	8.2	1.2	6.6	内:黒褐色 外:暗褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 内面:スス付蓋
153	SK-7	土師質土器	小皿	10.7	2.0	8.5	淡橙褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り
154	SK-7	土師質土器	小皿	10.4	1.9	7.4	淡褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り
155	SK-7	土師質土器	小皿	10.0	1.7	(7.4)	淡橙褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	後ナテ 底部:回転糸切り 底部:スス付蓋
156	SK-7	土師質土器	小皿	10.0	2.0	7.25	淡褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り
157	SK-19	土師質土器	小皿	8.0	1.4	6.3	内:暗褐色 外:暗褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 内外面:口縁部スス付蓋
158	SK-21	土師質土器	小皿	8.0	1.1	6.0	淡褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 内面:スス付蓋
159	SK-28	土師質土器	小皿	7.8	1.0	6.6	橙褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	後ナテ 底部:回転糸切り 内外面:口縁部スス付蓋
160	SK-30	土師質土器	小皿	8.8	1.9	3.8	橙褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 内外面:橙色の釉薬
161	SK-30	土師質土器	小皿	6.8	1.1	5.6	淡褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 内外面:口縁部スス付蓋
162	SK-30	土師質土器	小皿	6.9	1.0	5.2	淡褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 内外面:口縁部スス付蓋
163	SK-30	土師質土器	小皿	7.0	1.0	6.0	淡橙褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	後ナテ 底部:回転糸切り 外蓋:口縁部スス付蓋
164	SK-30	土師質土器	小皿	7.5	0.9	6.1	橙褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 内外面:口縁部スス付蓋
165	SK-30	土師質土器	小皿	7.0	1.0	5.3	淡褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 内外面:口縁部スス付蓋
166	SK-30	土師質土器	小皿	6.4	9.5	5.1	内:淡橙褐色 外:淡褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 底部:黒蓋あり
167	SK-30	土師質土器	小皿	7.0	1.1	5.4	黒褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 内外面:スス付蓋
168	SK-30	土師質土器	小皿	(6.8)	1.2	(5.6)	淡褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り
169	SK-30	土師質土器	小皿	7.1	0.9	(5.9)	淡褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	後ナテ 底部:回転糸切り 底部:内孔を穿つ
170	SK-30	土師質土器	小皿	7.2	1.1	5.6	淡褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 内外面:口縁部スス付蓋
171	SK-30	土師質土器	小皿	7.8	1.1	5.6	淡橙褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	後ナテ 底部:回転糸切り
172	SK-30	土師質土器	小皿	8.0	1.3	6.2	橙褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	後ナテ 底部:回転糸切り
173	SK-30	土師質土器	小皿	8.3	1.2	5.4	淡褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 内外面:口縁部スス付蓋
174	SK-30	土師質土器	小皿	7.0	0.85	5.5	淡橙褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 内外面:口縁部スス付蓋
175	SK-30	土師質土器	小皿	8.0	0.9	6.5	橙褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 内外面:口縁部スス付蓋
176	SK-30	土師質土器	小皿	8.3	1.2	6.4	黒褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 全体:スス付蓋
177	SK-30	土師質土器	小皿	8.4	1.1	(5.6)	淡褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 内外面:口縁部スス付蓋
178	SK-30	土師質土器	小皿	8.0	1.0	6.8	淡橙褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	後ナテ 底部:回転糸切り 内外面:口縁部スス付蓋
179	SK-29	土師質土器	小皿	11.8	2.7	7.2	淡灰褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	後ナテ 底部:回転糸切り
180	SK-29	土師質土器	小皿	10.9	1.7	9.0	内:暗褐色 外:黒褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	後ナテ 底部:回転糸切り 外面底部スス付蓋
181	SK-29	土師質土器	小皿	10.9	1.8	8.7	淡褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 内外面:スス付蓋
182	SK-29	土師質土器	小皿	9.4	2.0	6.5	淡橙褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	後ナテ 底部:回転糸切り 外面:口縁部スス付蓋
183	SK-35	土師質土器	小皿	8.0	1.2	6.0	橙褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 外面:口縁部スス付蓋
184	SK-39	土師質土器	小皿	8.9	1.5	7.4	淡褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り
185	SK-48	土師質土器	小皿	7.5	1.1	6.5	橙褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	後ナテ 底部:回転糸切り

中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡遺物観察表

NO	出土遺構	種類	器種	法 量(cm)			色 調	調 整	備 考
				口径	器高	底径			
186	SK-48	土師質土器	小皿	7.4	1.0	5.7	淡褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 外面:口縁部スス付蓋
187	SK-48	土師質土器	小皿	6.9	1.0	5.8	淡褐色	内:回転ナテ 後ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 外面:口縁部スス付蓋
188	SK-49	土師質土器	小皿	7.0	0.95	5.8	淡褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り
189	SK-49	土師質土器	小皿	7.1	1.0	6.4	褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 外面:口縁部スス付蓋
190	SK-55	土師質土器	小皿	9.2	1.7	6.3	淡褐色	内:回転ナテ 後ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 内外面:口縁部スス付蓋
191	SK-57	土師質土器	小皿	9.8	1.65	7.9	淡褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 外面:口縁部スス付蓋
192	SK-57	土師質土器	小皿	7.3	0.9	5.7	淡褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り
193	SK-63	土師質土器	小皿 (11.4)	2.2	8.7	内:暗褐色 外:淡褐色	内:回転ナテ 後ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 底部:底目あり	
194	SK-66	土師質土器	小皿	7.2	1.4	5.8	暗褐色	内:回転ナテ 後ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 底部:3ヶ所の円孔を穿つ
195	SK-67	土師質土器	小皿	9.2	2.3	4.2	内:黄褐色 外:淡褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:工具による切りとり 内外面:磨光
196	SK-67	土師質土器	小皿	8.0	1.0	6.8	内:黒褐色 外:暗褐色	内:回転ナテ 後ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 内外面:スス付蓋
197	SK-67	土師質土器	小皿	7.5	1.2	5.2	淡褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 内外面:口縁部スス付蓋
198	SK-70	土師質土器	小皿	10.0	2.0	(7.4)	淡褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り
199	SK-75	土師質土器	小皿	10.5	2.0	7.4	淡褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 内面:スス付蓋
200	SE-1	土師質土器	小皿	9.6	1.9	7.9	淡褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	底部:回転糸切り 内外面:口縁部スス付蓋
201	SK-2	土師質土器	こね鉢	-	-	-	褐色	内:ヨコミガキ 外:ヨコケズリ	胴部:一糸の突帯
202	SK-12	土師質土器	こね鉢	29.0	8.5	11.8	褐色	内:ヨコミガキ 外:ヨコケズリ	胴部:帯状の突帯 内面:口縁部未めり
203	SK-27	土師質土器	こね鉢	41.6	14.1	19.6	褐色	内:ヨコミガキ 外:ヨコケズリ	胴部:一糸の突帯
204	SK-30	土師質土器	土鍋	36.6	9.7	17.4	内:淡褐色 外:暗褐色	内:ヨコミガキ 外:ヨコケズリ	外面:スス付蓋
205	SK-30	土師質土器	こね鉢	32.8	13.4	21.5	褐色	内:ヨコミガキ 外:ヨコケズリ	内面:未磨り 外面:スス付蓋 胴部:帯状の突帯
206	SK-27	土師質土器	こね鉢	21.0	8.4	10.4	内:赤褐色 外:暗褐色	内:ヨコミガキ 外:ヨコケズリ	外面:スス付蓋
207	SK-41	土師質土器	こね鉢	22.2	10.0	(10.6)	淡褐色	内:ヨコミガキ 外:ヨコケズリ	外面:スス付蓋
208	SK-62	土師質土器	こね鉢	24.7	8.8	9.8	内:暗褐色 外:淡褐色	内:ヨコミガキ 外:ヨコケズリ	内外面:スス付蓋
209	SK-2	土師質土器	火鉢?	-	-	(20.0)	内:ナテ 外:ヨコナテ	墨立あり 底部:外面にキザミ	
210	SK-21	土師質土器	火鉢?	(29.0)	-	17.3	黒褐色	内:ハケ目 外:ヨコナテ ハケ目	内面:底部にスタンブ
211	SK-66	土師質土器	鉢	26.7	10.6	16.8	内:淡褐色 外:暗褐色	内:ハケ目 外:ナテ	底部:スス付蓋
212	SK-62	土師質土器	罐鉢	-	-	14.8	淡褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	
213	埋壘2	土師質土器	壘	-	-	35.8	内:淡褐色 外:黒褐色	内:ナテ 外:ヨコケズリ	埋め壘2
214	埋壘1	土師質土器	壘	-	-	14.0	内:淡褐色 外:黒褐色	内:ハケ目同心円文 外:ナテ 指ケズリ	埋め壘1
215	SK-21	土師質土器	ひょうそく	3.7	1.6	2.6	内:暗褐色 外:淡褐色	内:回転ナテ 外:回転ナテ	結束
216	SK-30	土師質土器	ひょうそく	4.8	1.7	2.4	淡灰褐色	内:丁寧なナテ 外:タナナテ	内外面:スス付蓋
217	SK-23	土師質土器	壇つぼ蓋	7.0	1.6	-	淡黄褐色	不明	摩滅が著しい
218	SK-23	土師質土器	壇つぼ	5.4	7.6	1.6	内:暗褐色 外:淡褐色	内:不明 外:タナナテ	摩滅が著しい
219	SK-23	土師質土器	壇つぼ	5.7	7.6	5.1	内:黒褐色 外:暗褐色	内:指ケズリ 外:ヨコナテ指オサエ	内面:スス付蓋 外面:口縁部スス付蓋

中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡遺物観察表

NO	出土遺構	種類	器種	法量(cm)			色調	調整	備考
				口徑	器高	底徑			
220	SK-28	土師質土器	土製円蓋	8.2	0.9	8.2	橙褐色	上:回転糸切り 下:回転糸切り	
221	SK-30	土師質土器	土製円蓋	7.0	1.0	7.0	淡褐色	上:回転糸切り 下:回転糸切り	
222	SK-67	土師質土器	土製円蓋	5.8	0.6	5.8	淡褐色	上:回転糸切り 下:回転糸切り	
223	SK-28	土師質土器	不明	10.0	6.2		淡褐色	内:ナデ 外:タテケズリ	
224	SK-39	土師質土器	火入	8.2	8.2	8.4	淡橙褐色	内:回転ヨコナデ 外:回転ヨコナデ	胴部:8米の沈線
225	SK-59	磁器	人形	-	4.2	-	深緑		頭部:欠損
226	SK-30	石製品	礎		1.3以上				最大幅6.2cm

中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡土製品、土人形観察表

NO.	出土遺構	器類	法量(cm)		重さ(g)	色調	備考
			器高				
227	SK-7	土人形	4.5		12	淡褐色	備?
228	SK-21	土人形	4.4以上		19	淡橙褐色	裏?
229	SK-21	土人形	2.2		7	淡褐色	狛犬
230	SK-27	土人形	3.15以上		3	淡褐色	天神?
231	SK-27	土人形	3.7		3	淡橙褐色	船
232	SK-27	土人形	3.1		5	淡褐色	狛犬
233	SK-27	土人形	3.4以上		12	淡褐色	鉢
234	SK-30	土瓶?	4.6		17	淡褐色	両側面に刻字あり
235	SK-30	土人形	6.7以上		110	暗褐色	馬
236	SK-30	土人形	5.6以上		15	淡褐色	十二神尊?
237	SK-30	土人形	2.75以上		16	淡褐色	狛犬
238	SK-30	土人形	3.4以上		18	淡褐色	狛犬
239	SK-30	土人形	3.65		8	淡褐色	狛犬
240	SK-30	土人形	1.7以上		2	淡褐色	鳥居
241	SK-30	土人形	4.7以上		39	淡橙褐色	天神
242	SK-30	土人形	2.4以上		11	淡褐色	大黒天?
243	SK-30	土人形	2.3以上		2	淡褐色	備?
244	SK-31	土鈴	3.7以上		18	淡褐色	鈴
245	SK-57	土人形	6.1		31	淡褐色	堂内天神
246	SK-69	土人形	2.7		7	淡褐色	大黒天
247	SK-69	土人形	2.8		4	淡褐色	天神
248	SK-30	土人形	2.1以上		2	淡褐色	駒
249	SK-7	土鐘	5.9		11	橙褐色	
250	SK-7	土鐘	5.7		6	黒褐色	
251	SK-7	土鐘	4.8		7	淡黒褐色	
252	SK-7	土鐘	3.9		7	橙褐色	
253	SK-7	土鐘	4.6		8	黒褐色	
254	SK-7	土鐘	5.0		5	橙褐色	
255	SK-7	土鐘	6.7		12	黒褐色	
256	SK-7	土鐘	3.95		7	淡褐色	
257	SK-7	土鐘	5.1		6	暗褐色	
258	SK-7	土鐘	4.75		7	淡褐色	
259	SK-7	土鐘	5.05		10	黒褐色	
260	SK-7	土鐘	6.0		6	暗橙褐色	
261	SK-7	土鐘	4.9		9	黒褐色	
262	SK-7	土鐘	5.3		10	淡橙褐色	

中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡土製品、土人形観察表

NO.	出土遺構	器類	法量 (cm)		重さ (g)	色調	備考
			器高				
263	SK-7	土鉢	5.2		6	櫻褐色	
264	SK-7	土鉢	4.65		7	黒褐色	
265	SK-7	土鉢	4.8		7	黒褐色	
266	SK-7	土鉢	5.5		6	黒褐色	
267	SK-7	土鉢	4.75		7	黒褐色	
268	SK-7	土鉢	4.85		8	黒褐色	
269	SK-7	土鉢	5.2		9	黒褐色	
270	SK-7	土鉢	4.8		7	黒褐色	
271	SK-7	土鉢	4.0		4	暗櫻褐色	
272	SK-7	土鉢	4.9		9	暗褐色	
273	SK-7	土鉢	5.0		10	黒褐色	
274	SK-7	土鉢	5.1		11	暗褐色	
275	SK-7	土鉢	4.2		6	黒褐色	
276	SK-7	土鉢	5.4		7	黒褐色	
277	SK-7	土鉢	4.8		8	淡櫻褐色	
278	SK-7	土鉢	4.5		6	黒褐色	
279	SK-7	土鉢	4.75		9	黒褐色	
280	SK-7	土鉢	4.8		6	櫻褐色	
281	SK-7	土鉢	5.4		6	櫻褐色	
282	SK-7	土鉢	3.3		4	淡褐色	
283	SK-7	土鉢	5.65		7	黒褐色	
284	SK-21	土鉢	4.4		5	暗櫻褐色	
285	SK-21	土鉢	4.8		8	黒褐色	
286	SK-21	土鉢	5.3		8	黒褐色	
287	SK-21	土鉢	2.4以上		4	淡褐色	
288	SK-21	土鉢	4.2		6	暗櫻褐色	
289	SK-21	土鉢	3.5以上		4	暗櫻褐色	
290	SK-21	土鉢	4.0		4	淡灰褐色	
291	SK-21	土鉢	5.2以上		9	淡褐色	
292	SK-21	土鉢	4.2以上		7	櫻褐色	
293	SK-21	土鉢	5.5		6	暗櫻褐色	

中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡銅製品観察表

NO.	出土遺構	種別	法量 (cm)	重さ (g)	備考
294	SK-7	銅製品	底径 3.4	13	器高 1.1 水滴?
295	SK-30	銅製品	長さ 5.7	7	煙管吸口
296	SK-30	銅製品	長さ 3.1	1	煙管吸口
297	SK-30	銅製品	長さ 5.3	5	煙管吸口
298	SK-30	銅製品	長さ 5.0	15	煙管磨削
299	SK-30	銅製品	長さ 5.8以上	3	不明 変形
300	SK-30	銅製品	長さ 5.1以上	5	かんざし?
301	SK-40	銅製品	長さ 8.9以上	1	かんざし 変形
302	SK-40	銅製品	長さ 9.6以上	2	かんざし?
303	SK-40	銅製品	長さ 8.5以上	1	かんざし?

第3章 小結

本書の小結として「遺構」・「奥平孫次郎」・「建物の変遷」について簡単にまとめることにする。

遺 構

今回の調査区で検出された土壌は80基である。土壌からの出土遺物は概ね18世紀～19世紀である。SK-7は東西に4.5m、南北に4mの方形である。埋土は炭と焼土が入り混じったもので、東西側から流し込むように廃棄されたものであろう。『市令録』によれば寛政4（1792年）3.23日、殿町出火類焼23軒の大火がみられる。SK-7がこの大火に伴う遺構とは言いがたいが火災の片付けをおこなったものであろう。SK-21も同様の遺構と考えられる。SK-30は検出された遺構で最も多く遺物が検出された遺構である。18世紀後半～19世紀中頃の遺物が主体である。遺物の検出状況から一括廃棄されたものであろう。SK-40は浅い皿状に河原石が敷き詰められた遺構である。調査の進行上、遺構の約半分しか掘り下げることができなかった。遺構を断ち割り土層観察から、遺構は1.45m掘り下げられ、暗褐色と黄色の土を交互に積み重ね、この上に河原石を敷き詰めたものである。またこれに伴うものと考えられる石列が南北方向に検出された。石列は30cmほどの石が3段積み重ねられ2.5m続く。SK-40は池状の遺構であろうか。SK-58は方形に石組みが伴う遺構である。東側の石組みはSK-22に切られ欠落したものであろう。

奥平孫次郎

今回の調査区は慶応2年の絵図が奥平孫次郎屋敷に位置する。孫次郎は『奥平藩臣略譜集録』によれば「中津藩家中分限帳一高二百石地方口御供番奥平孫次郎新吉郎」と記される。

また『記註撮要家督役替』に

文化九壬申年十二月十五日 御頭被 仰付候 奥平孫次郎

天保六年未ノ正月 十二月朔日 御徒土頭・御供頭兼帯被 仰付候 奥平孫次郎

弘化二年巳正月ヨリ 八月廿五日 本役御頭頭候兼帯共御免被成候 奥平孫次郎

などが記される。奥平孫次郎は中津藩の上級武士である。

建物の変遷

今回の調査区内で武家屋敷の礎石になるものは検出されなかった。これはこの地が江戸時代以降幾度かの開発が影響したものであろう。大分地方方法務局中津支局に残る明治43年には個人の宅地が記される。調査区の中央部の建物基礎は石組みである。これは遺構検出面より40cmほど高い。石組みの上面に漆くいが貼り付けられるのが確認された。昭和30年代までこの地に味噌の麹蔵があり、これにあたるものであろう。この地は国に物納され中津税務署が建設された。

<参考文献>

中津藩史両断叢書『中津藩風土と歴史』第十五輯 第十六輯

半田隆夫 中津市立小幡記念図書館

中津藩市両断叢書『市令録』 半田隆夫 中津市立小幡記念図書館

『奥平藩臣略譜集録』 生田重倫 編集

図版. 1



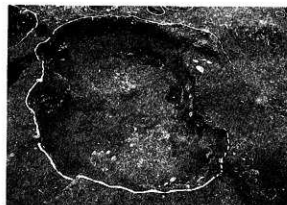
発掘前風景



発掘風景



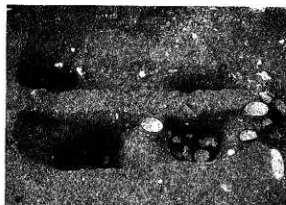
SK-1, 2, 19



SK-7



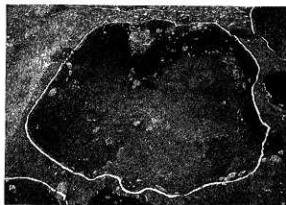
SK-7土層



SK-11



SK-17



SK-21

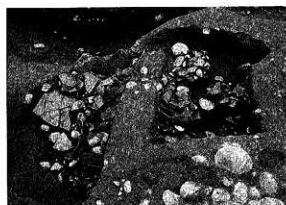
図版. 2



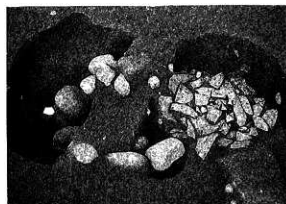
SK-25



SK-30



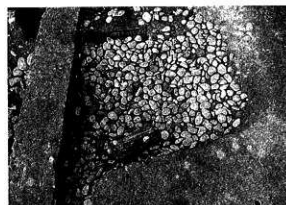
SK-31



SK-34



SK-35



SK-40



SK-40土層



SK-55土層

図版.3



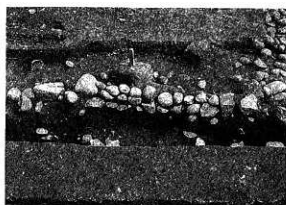
SK-58



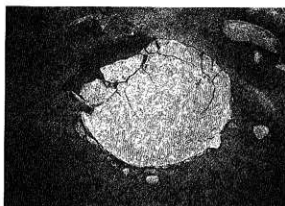
SK-58



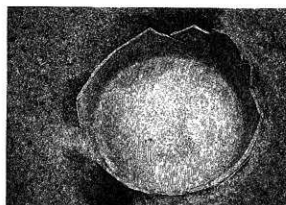
石列SE-1



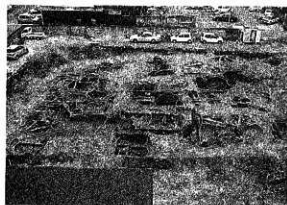
石列-1



埋め窆-1



埋め窆-2

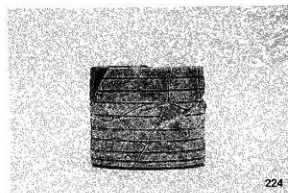
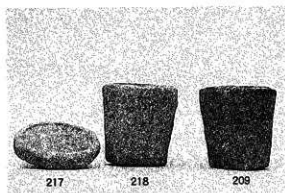
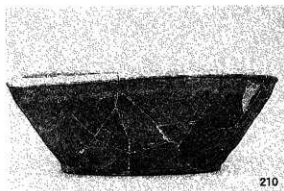
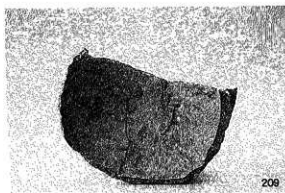


調査区東側より

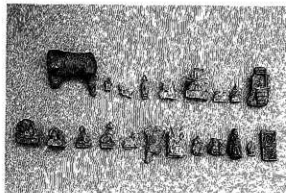


調査区北側より

图版. 4



図版.5



土人形



土罐

報告書抄録

ふりがな	なかつじょうかまちいせき	とのまち	おくだいらまごじろうやしきあと					
書名	中津城下町遺跡	殿町	奥平孫次郎屋敷跡					
副書名								
巻次								
シリーズ名	中津市文化財調査報告書							
シリーズ番号	第33集							
編著者名	花崎 徹							
編集機関	中津市教育委員会							
所在地	大分県中津市豊田町14-3							
発行年月日	2003年3月10日							
所収遺跡名	所在地	コード			調査期間	調査面積	調査原因	
		市町村	遺跡番号	北緯 東経				
中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡	大分県中津市1422番地	44203	101002	33° 131'	021202 ~030312	810㎡	病院建設	
				35' 11"				
				58" 7"				
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡	城下町	江戸	鹿糞土壌	近世陶磁器				

中津城下町遺跡殿町奥平孫次郎屋敷跡

中津市文化財調査報告書

2004年3月10日

発行 中津市教育委員会
印刷 久恒日昇堂印刷